

夕映え

2005 冬号 vol.7

1. 私たちは、医療人としての責任を自覚し、研修をおこたらず安全で水準の高い医療の提供に努めます。
2. 私たちは、患者さまが自立した生活を送れるよう身体機能の回復、維持、日常生活動作の改善を支援します。
3. 私たちは、「いつも笑顔で真心こめて」をモットーに、患者様の立場に立った心温まる医療を行います。
4. 私たちは、地域の人々のために、保健・福祉活動の充実に努めます。



玉造人工関節センターを開設して

人工関節センター長 小谷 博信

当院では今まで多くの人工関節手術を行なってきておりますが、年々増加するこの分野のより一層の発展を期するために、2005年10月1日から人工関節センターを開設いたしました。

現在、当院では年間約380症例（今までに約5000例）の人工関節手術を行っていますが、近年の人口の高齢化に伴い、人工関節手術は年々増加してきております。このセンターの目的は、年々増加する人工関節手術をより専門的な立場から充実を図り、外来から術前の身体状態の評価、合併症の対策、手術、リハビリテーション、術後経過の診療と一貫した体制を構築することにより、より充実した治療を提供し、患者様に安心して治療に専念していただくことにあります。

人工関節手術は主に高齢者に行う手術であり、高齢者特有の内科的疾患も多く、よりの確に患者様の状態を把握する必要があります。当センターではセンター病棟（人工関節専門病棟）を中心にして、センター外来（専門外来・週3日）は病棟ナースが外来を兼任し、より患者様の病態を把握しやすくし、内科的疾患（高齢者特有の合併症）に対して内科スタッフの協力のもとに、より迅速かつ的確に対応できるようにしたいと思います。

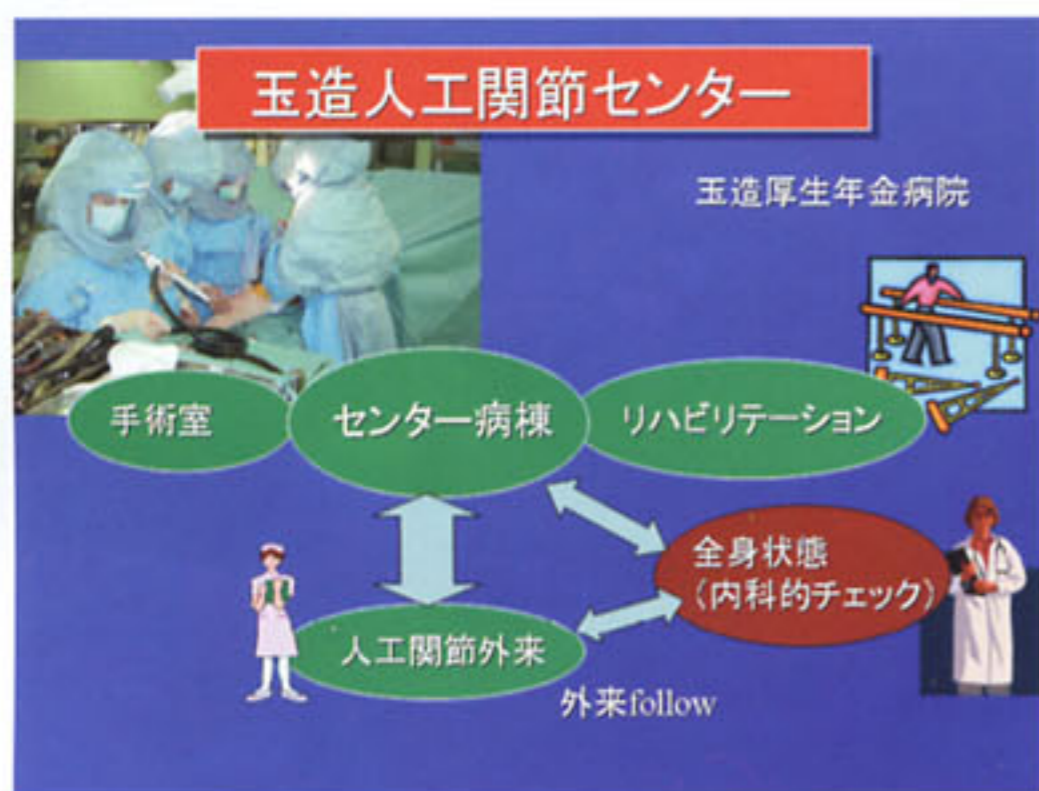


センター外来

センター病棟

また、術後リハビリテーションではセンター専属の訓練士をおきます。こうすることで、よりきめの細かいリハビリを行うことができ、患者様もより安心感をもって治療に専念していただけるものと思います。

さらに、他の病院の医師など医療スタッフたちの手術見学や研修を行えるラーニングプログラムもつくり、研修を受け入れる予定であります。そして、



人工関節手術を受けられた患者様の友の会も計画しており、患者様相互の交流や講演会など計画中です。

来たる2005年10月6日には松江テルサで、玉造厚生年金病院開設60周年・人工関節センター開設記念市民講演会として、「膝の痛みのない快適な生活を」をテーマに、私の「膝の痛みと治療方法—よく曲がる人工膝関節をめざして—」の講演と、年間500例以上の人工関節手術を行っているエキスパートである米国のトーマス パーナセック先生を迎えての「米国における人工膝関節手術の最新情報」という演題で講演を逐次通訳で行いました。約500人の多数の来場者を得て盛況のうちに終了いたしました。この場をお借りして、関係各位に御礼申し上げます。



◀左より
小谷博信センター長
トーマスパーナセック教授
上尾院長
(10/6、松江テルサにて)

近年、人工関節の手術が多くなってきたとはいえ、米国では膝の人工関節手術をした人は年間約25万人ですが、日本では約4万人で大きな差があります。米国では、人生を快適により楽しく過ごしたいという患者さんの意識の強さがうかがえます。このように、日本ではまだまだ人工関節の認知度は低く、関節の痛みに対し苦痛の日々を送っておられる方も多いと思われます。人工関節の利点をもっともっと知っていただき、より快適な生活を過ごしていただきたいと思います。

人工関節センターの開設によって、私どもスタッフは、より最新の医療を、より充実して、よりの確に患者様の提供でき、また、患者様はより安心して治療に専念していただけるものと思います。そして、さらに治療成績の向上を目指して努力し、皆様方の期待にこたえたいと頑張る所存ですので、皆様方のご協力よろしくお願いいたします。

人工関節外来

月曜日午後：上尾豊二院長

水曜日午後：小谷博信人工関節センター長

金曜日午後：池田登整形外科部長

人工関節センター受診予約係 0852-62-1560

転倒予防教室をご存知ですか？

転倒予防教室は介護予防の一手段として、転倒予防の正しい知識の提供と転倒しない体づくりに必要な運動指導を行い、正しい運動の生活習慣化を図り、更に転倒による骨折を継続的に予防することを目的として行われています。当院でも2002年より周辺の市町村で「一日転倒予防教室」を実施しています。

本年度は10月8日に松江市保健福祉センターで実施しました。始めに池田整形外科部長による「高齢者の骨折とその対応」というテーマで、高齢者に多い骨折の種類や、転びやすい人の特徴などについて講演していただき、その後、転倒歴や内服の有無、今の体調などの健康チェックを行った後、健脚度測定を行いました。

健脚度測定とは、「歩く」「またぐ」「昇って降りる」といった高齢者が日常ごく普通に行っている移動動作を取り入れて運動能力を評価するもので、特別な機械や道具を必要とせず、方法も簡便で、日常的でわかりやすく、生活実感がある方法です。私たちは、健脚度測定を行うことにより、皆様に現在の能力を把握していただけると考えています。

休憩後の体操指導はストレッチ、バランス運動、ボディじゃんけん、音楽に合わせた体操など簡単で楽しく行え、なるべく毎日続けられそうなものの紹介も行いました。

終了後のアンケートを見ると、どの内容も満足して頂け、今後の生活に役立つと感じて頂けたようでした。今後もより多くの人にこの教室を知っていただき、高齢者の健康寿命を長くするお手伝いしたいと思います。

ちなみに転びやすい人の体の特徴は①太り気味②脚の筋力(健脚度)が弱い③動脈硬化の傾向などがあげられます。皆様も今出来ることから始めてみませんか！

(文責 松本 紀子)



医療の現場から ～治療トピックス～

胃十二指腸潰瘍

消化器科部長 芦沢 信雄

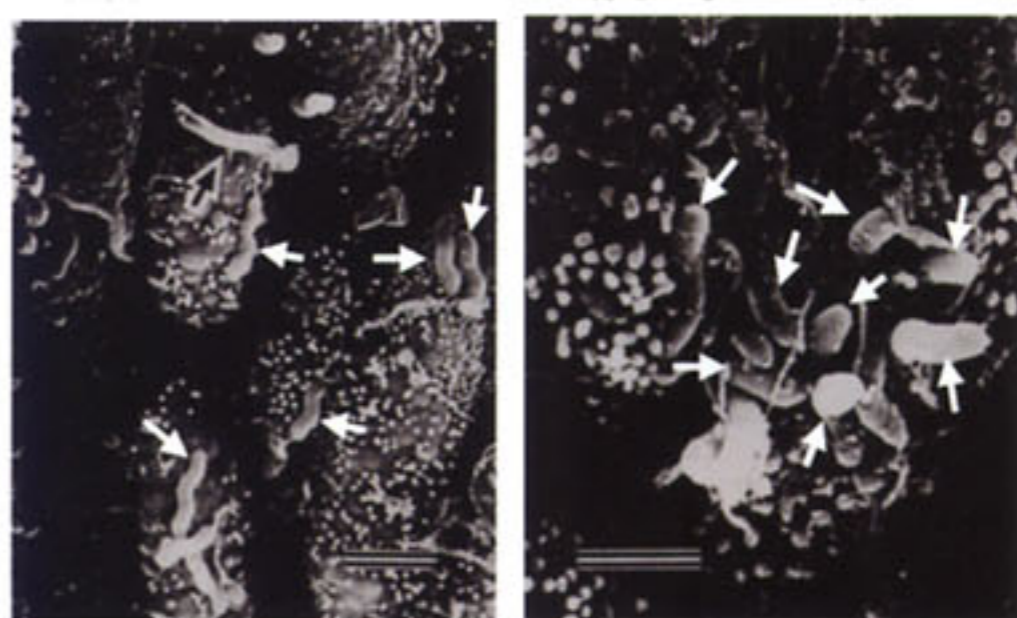


胃十二指腸潰瘍とは胃十二指腸の粘膜が削れて痛んだり出血したりする病気です。あの夏目漱石も胃潰瘍で長年苦しんだそうで、その当時からストレスが原因であることはよく理解されてきました。最近ではヘリコバクター・ピロリ菌(**図：写真**)が胃内に持続感染していることが重要な原因であり、この細菌を胃の中から退治(除菌)すると、今まで再発を繰り返していた胃十二指腸潰瘍から多くの人が開放されることもわかってきました。

当院でも胃十二指腸潰瘍と診断された人または過去になったことがある人で、胃内にこの細菌の存在を確認したら、できるだけ除菌治療を行っています。除菌治療とは抗生物質2種類と胃酸を最も強力に抑える薬剤1種類を1週間内服するという治療で、約8から9割の人はこれで除菌できます。この他に胃十二指腸潰瘍の原因として鎮痛剤による副作用があります。この副作用は高齢になるほど起こりやすく、また過去に胃十二指腸潰瘍になったことのある人、ステロイドという薬を飲んでいる人、心筋梗塞や脳梗塞の予防のために血を固まりにくくする薬を飲んでいる人、複数または多量の鎮痛剤を投与されている人は高頻度に鎮痛剤瘡を発症することがわかっており、これらに該当する人たちを高危険群として取り扱う必要があります。しかし通常の胃薬では十分に予防できませんので、鎮痛剤による胃粘膜障害を専門に抑える薬(プロスタグランジン製剤)か、胃酸を最も強力に抑える薬(プロトンポンプ阻害剤)も飲んで胃十二指腸潰瘍を予防するしかありません。そこで当院では鎮痛剤潰瘍対策として、高危険群の人に鎮痛剤を投与する時には、これらの予防薬も併用するようにしています。これによって下表のように鎮痛剤潰瘍の発見件数は激減しました。当院では今まで高齢の基準を70歳以上としていましたが一般に言われているように60歳以上を高危険群に入れてもっと対策を徹底すると、当院で年間に24例あった鎮痛剤潰瘍は2～3例にまで減少させることができます。

平成14年以降のヘリコバクター・ピロリ除菌治療の影響で下表に示すように非鎮痛剤性潰瘍も半減しています。鎮痛剤潰瘍対策とヘリコバクター・ピロリ除菌を行うことにより胃十二指腸潰瘍はかなり予防できるのです。胃十二指腸潰瘍になったことのある人や鎮痛剤をよく使う人にとって知っていなければ損な話です。ヘリコバクター・ピロリ菌については内科外来に説明用のパンフレットもありますので、興味のある方は内科外来受付まで申し出てください。

図：胃カメラ下に採取した胃粘膜組織標本走査電子顕微鏡写真(撮影 芦沢) イモムシのようなヘリコバクター・ピロリ菌が胃粘膜上の微絨毛をかきわけてうごめいている様子を示している。



<表>胃カメラで発見した胃十二指腸潰瘍例数の推移(玉造厚生年金病院)

	鎮痛剤潰瘍対策前 H.14.4.1～H.15.3.31	鎮痛剤潰瘍対策後 H15.9.1～H.16.8.31
鎮痛剤投与中発症例	24例	9例
鎮痛剤非投与中発症例	23例	14例

*当院では平成14年4月以降、積極的にヘリコバクター・ピロリ除菌治療開始しています。

*上記の症例数は発見された数です。実際には無症状で経過する胃十二指腸潰瘍もかなりあり、そのような場合には胃カメラ検査をすることはないので、本当の発症数はこれよりもかなり多いものと思われます。

玉湯幼稚園児の見舞訪問を受けました

毎年9月に、玉湯幼稚園児の年長児が先生と一緒に手作りの花瓶と野の花や小物入れ、千羽鶴を持ってお見舞い訪問に来てくれています。これは、「幼稚園として、地域との関わりを大切にしたい。また子供たちのパワーで患者さまに元気を出していただき、1日も早く良くなってほしい」との思いを込めて訪問していると、幼稚園の先生から伺いました。持参される千羽鶴は、年長児とその家族の協力によって完成されるそうです。

今年は、9月14日に元気の良い園児の皆さんが来て下さいました。はじめに3階の患者食堂において、患者さまたちの前で園児たち全員により“おじいちゃんとおばあちゃん”や“かえる”の歌を合唱、そして、“水戸黄門”の曲に合わせての体操を披露してくれました。自分の孫やひ孫を思い出し、目頭を押さえている方もいらっしゃいました。患者さまはもとより、病院スタッフも園児の皆さんからパワーをいただいたようでした。

次に、5～6人ずつ各班に分かれての病棟訪問では、手作りの小物入れを患者さまにプレゼントしてくれました。中には、頸椎の手術後装具を装着している患者さまの傍に行き、「息が苦しくない？」と尋ねた園児もいました。患者さまからは、「優しい子だね。なかなかそんなこと聞けないよね。」と感心してらっしゃいました。園児たちがすばらしい感性を持っていることに驚くと同時に、これも先生方やご家族、また地域の方々の支援の賜物であると感じました。

幼稚園児のみなさん、病院の患者さまを訪問してくれて、本当にありがとうね。また、来年も待ってるよ。
(文責 岡田 治子)



職員紹介



金森 照美
西4階病棟 看護師
平成17年4月1日採用

高校を卒業してから、大阪の看護学校に進学して、3年間看護の勉強をしてきました。大阪に住んでいる間は学校の友人と苦楽を共にしていましたが、現在では実家で家族と暮らしています。他病院での経験も少しありますが、まだわからないことが多いので、日々勉強していきたいと思っています。



宍道 敦子
西3階病棟 看護師
平成17年4月1日採用

この病院に就職して9ヶ月が過ぎ、患者さまと関わりながらたくさんの方のことを学ばせていただいています。まだまだ慣れないこともありますが、早く一人前の看護師になれるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



吉原 夏季
西2階病棟 看護師
平成17年4月1日採用

4月に就職し、やっと仕事にも慣れてきました。初めて見たり、初めて聞いたりすることが多く、戸惑ったり、喜んだり、一喜一憂する毎日です。多くの患者さまに出会い、関わる中でいろいろなことを吸収し、少しずつ成長していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。



こちら玉病探検隊

Vol.7 栄 養 部

管理栄養士の業務とは

管理栄養士とは、病気の治療・回復・予防を目指し患者さまの給食管理及び栄養指導（相談）等の業務を行う仕事です。

給食管理とは、献立作成（栄養管理）・発注（食材管理）・衛生管理等の業務のことを指し、栄養管理とは、医師の指示のもとに入院患者さまならびに外来患者さまに疾病治療と予防を含め、適切な食事への改善を図るためのお手伝いを行う業務のことをいいます。

病院での食事は、大きく一般食と特別食の2種類に分類され、疾病治療を特に必要としない方へは、常食や全粥食等を提供し、生活習慣病である糖尿病や高血圧等の疾患がある方には、改善・治療のために考えられた食事（特別食）を提供しています。

一般的に病院食は、ご飯の量が多いとか、反対に魚や肉の量が少ない、また味付けが薄いなど、「美味しくない」との印象が強いかと思いますが、入院中は生活習慣の見直しのための1つの手段がこの食事内容にあると考えていただければ幸いです。現在の当院における一般食の塩分は、10g/日以内での献立作成となっています。

とは言いながら、病院食とはいえ患者さまにとって食事は入院生活での楽しみの内の1つです。当院では、毎日朝・夕食における選択食の実施（2種類のメニューからの選択）や、誕生日を迎えられた方には誕生日祝膳、また毎月1回幕の内弁当の提供と、少しでも患者さまに喜んでいただける献立（メニュー）を提供できるよう調理師ともども取り組んでいます。皆様からの美味しい食事を、という声に応えるべく、毎日試行錯誤を繰り返しています。食材に関しても、季節を感じていただけるものを取り入れたり、当院栄養部の基本方針である、「食は人を良くする」を念頭に、少しでも皆様からのご意

— 11月の幕の内弁当メニュー —

《写真上》

鱈の照り焼き

生姜と柿の葉の付け合わせ

絹厚揚げ、しめじ、人参、いんげん、椎茸炊き合わせ

海老、フロッコリー、カリフラワーのドレッシング和え

菜果なます

舞茸、えのき茸、子葱の茸汁

蕪漬

果物

見や励ましの声を反映させられるよう努力を続けています。

病院での食事は、何時でも主食・主菜・副菜の組み合わせを考えて献立を作成していますので、退院後健全な食習慣のために、ご自宅でも参考にして献立をお考えいただければ幸いです。

（文責 管理栄養士 岸本 典子）



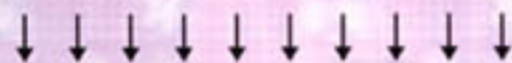
誕生日祝膳

ホームページリニューアル!

このたび、当院は開設60周年を迎える運びとなりました。これに合わせ、11月1日より今までのホームページを一新し、より見やすく、また患者さまの観点に立ったものに変更いたしました。皆様も一度アクセスしてみてくださいね。また、ご意見ご感想等もぜひお寄せください。お待ちしております!



新しいホームページアドレスはこちら



<http://tamahosp.jp>

表紙の写真

県道沿い駐車場脇に植えられている「はなみずき」です。4月から5月にかけて可憐な薄いピンク色の花を咲かせます。木全体が花の塊になる状態から、花水木と呼ばれます。秋には、真っ赤な実を付けます。実ばかりでなく、紅葉も見事です。花言葉は「返礼」です。真っ赤な実は何の返礼でしょうか。秋の真っ青な空に見事に映る花水木の実をみなさんもしばし眺めてみませんか。(F.S)

編集後記

今年も余すところ1ヶ月となり、「師走」という言葉を耳にすると何となく忙しく感じてしまいます。師走に走るのには「学校の先生」「お坊さん」「兵隊さん」「何かの師匠」というように、いくつかの説があるようですが、皆さんのイメージの中では誰が走っているのでしょうか。ひょっとしたら、自分自身かもしれませんね。

さて、2005年の「夕映え」は無事に発行することができましたが、来年もより中身の充実したものをお届けできるように頑張っていります。よろしくお願い致します。(K.T)

夕映えのバックナンバーはホームページでもご覧になれます。

■ 編集・発行責任者 上尾 豊二
〒699-0293 島根県松江市玉湯町湯町1-2
TEL 0852 (62) 1560
<http://tamahosp.jp>